
TOHOKU
UNIVERSITY
東北大学
施設部

東北大学施設部の概要

●所在地　　：東北大学片平キャンパス（地下鉄東西線青葉通一番町駅徒歩10分）
その他、星陵、川内、青葉山の各キャンパス（仙台市内）にも勤務地あり

●職員数　　：49名　（大学全体で6,580名（2025年5月1日現在）
役員13名、教員3,042名、事務・技術職員等3,525名）

●組織　　：本部事務機構に所属、4課で構成。（一部の学部等にも配属）



東北大学施設部について

東北大学は、1907年に日本で3番目の国立の大学として誕生して以来、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の基本理念のもと、多数の優れた人材を広く国内外から受け入れ、育て、輩出してきました。

東北大学施設部は、キャンパスに建つ様々な建物やインフラの「企画」「設計」「整備」「維持管理」を通じて、大学の行う教育・研究活動を支える仕事をしています。

- キャンパス面積　：約2,200万㎡
- 建物面積　：約120万㎡
- 保有施設　：教育・研究施設、図書館、体育施設、病院、国際交流会館、宿舎等
  登録有形文化財など、歴史的建造物も多数保有



（青葉山）青葉山ユニバース



（片平）旧 仙台医学専門学校六号教室
〈 東北大学魯迅の階段教室 〉



（川内）川内厚生会館

施設系技術職員とは

東北大学では、「建築」「電気」「機械」などの専門性を持った施設系技術職員が、大学が保有する施設の維持管理や、新たな施設の企画、整備などを行っています。

1907年の大学創立以来の歴史を受け継ぎ、次の100年を見据えた教育・研究環境の充実を図るため、施設・設備面から大学運営を担っています。

<施設系技術職員の主な業務>

企画・計画
- 学内の要望のヒアリング
- 整備方針を定める
- 予算要求

設計・積算
- 現地調査、ユーザーヒアリング
- 設計・積算、各種申請等
- 工事発注

工事監理
- 定例会議
- 各種検査の立会い

維持管理
- 工事後のフィードバック
- 定期点検、定期報告

このほか、
- 地球温暖化対策・省エネルギー対策の実施
- サスティナブルキャンパスの形成
- インフラ整備の企画立案
- 交通対策
- 屋外環境整備
- 廃棄物処理の実施
- 環境安全衛生管理活動の企画立案・把握・指導等
- 防火・防災に関すること

等も行っています。

施設系技術職員とは

＜先輩職員の1日のスケジュール例＞

8:30	出勤
9:00～10:00	打合せ資料の準備
10:30～11:30	文科省打合せ（オンライン）
12:00～13:00	昼休み
13:15～14:00	課内定例会議
15:00～16:00	学部との打合せ（オンライン）
16:00～17:00	打合せの概要作成
17:15	退勤

・企画担当の業務はデスクワークがメイン
・キャンパスが分散しているので、学内の打合せでもオンラインを活用
・退勤後にサークル活動などを楽しむ職員も

・整備担当の業務はデスクワークと現場の両方
・テレワークやフレックスタイム制など、多様な働き方
・子育てとの両立など、ワークライフバランスの充実

9:30	出勤（フレックス）
10:00～11:00	消防署との協議
11:00～12:00	現地調査
12:00～13:00	昼休み
13:15～14:30	設計事務所との打合せ
15:15～18:15	看護休暇

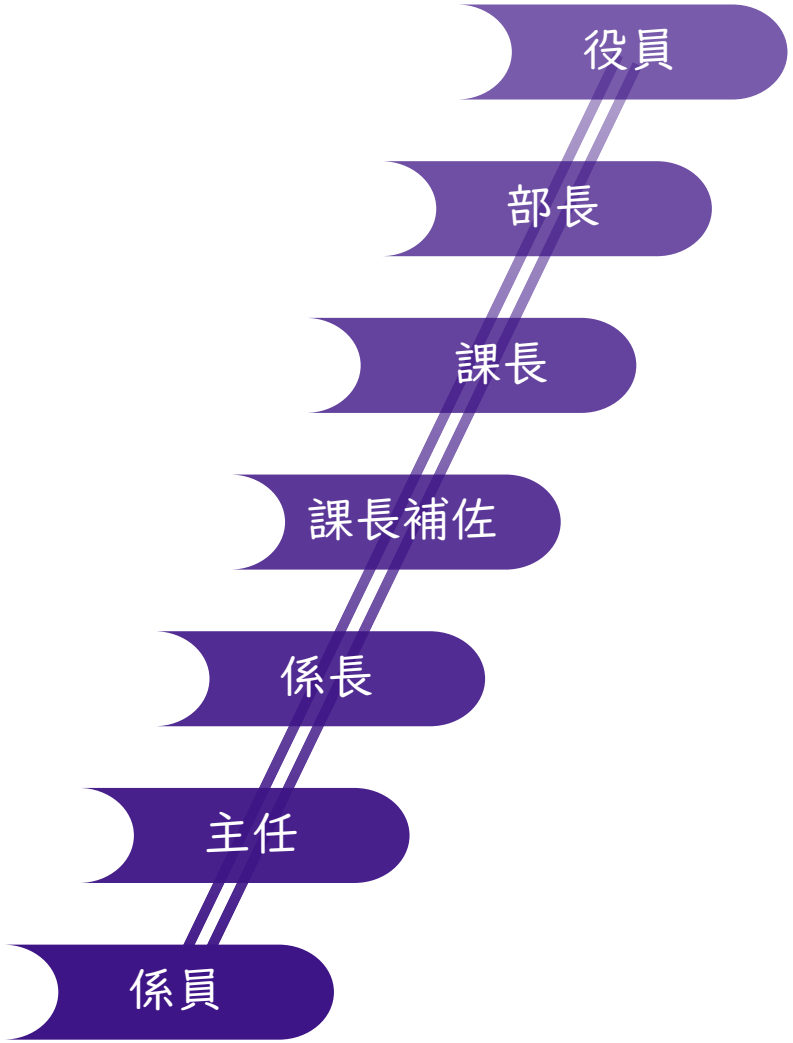
＜施設系技術職員のやりがい＞

東北大学は、100年を超える歴史を有する総合研究大学として多くの指導的人材を育成し、世界的に卓越した研究成果を創出して、平和で公正な人類社会の発展に貢献してきました。

その伝統を受け継ぎながら、最先端の教育・研究に相応しい環境をつくりあげていくことは簡単ではありませんが、建築・電気・機械などの専門性を活かしつつ、学生や教職員と一体となって大学を発展させていくことは、ここでしか経験することのできない仕事です。

キャリアパス・研修制度等

職員の能力，取得資格，勤務評価等により、上位ポストに昇進していきます。



主な研修制度

1. 階層別研修
   新規職員研修、中堅職員研修、主任研修、係長研修、
   課長補佐研修、新任管理者研修　等
2. 専門研修
   語学研修（英語）、会計研修、技術職員研修　等
3. 事務職員SD
   事務職員向け業務研修動画　等
4. その他の研修
   応急危険度判定講習、文部科学省行政実務研修　等

主な取得資格

1級建築士、2級建築士、
建築設備士、 電気主任技術者、エネルギー管理士、
施工管理技士等

学内での勤務を基本としますが、本人の希望や人材育成の一環として
外部機関における研修又は外部機関への出向等を行う場合もあります。

最近の主な施設整備



R5年度（青葉山3）青葉山ユニバース
ZEB Ready





R1年度（改修：大正13年建設）
（片平）旧金研10号館

R5年度（青葉山3）国際放射光イノベーション・スマート研究棟
ZEB Ready



最近の主な施設整備



R4年度（青葉山2）センタースクエア（図書館・厚生施設）
Nearly ZEB 改修





現在進行中の施設整備



国際卓越研究大学としての拠点施設を整備。
この他にも、片平キャンパス、川内キャンパス、
青葉山キャンパスに新棟を計画中



メッセージ

東北大学は、1907年に日本で3番目の国立大学として創設され、今年で119年目を迎えます。

一世紀以上の歴史を有する総合研究大学として、「研究第一」「門戸開放」「実学尊重」の理念を掲げて指導的人材を育成し、世界に卓越した研究成果を創出して、平和で公正な人類社会の発展に貢献することを、大学の使命としてきました。

東北大学は2024年12月に日本初の国際卓越研究大学に認定・認可されました。今後は目標達成に向けて更なる体制強化が図られることとなります。そのためには、教育・研究環境の充実などキャンパスの整備が欠かせません。

みなさんの意欲と専門性を活かし、東北大学の施設系技術職員として、私たちと一緒に豊かな大学キャンパスを創っていきませんか。



「東北大学環境報告書2023」より



国立大学法人東北大学 施設部
https://www.bureau.tohoku.ac.jp/sisetubu/